

見つめなおしてみませんか？お母さん

「子どもって、言うこと聞かないし、本当に思うとおりにならない。」

イライラしていませんか？ついつい大声で怒鳴ったりしていませんか？『自分の子どもなのに・・・』って思うこと、ありませんか？

イライラする前に、ちょっと見つめなおしてみませんか。子どもに何を望んでいるのか、どうしてほしいのか。そして、“なぜ”そうしてほしいのか、望んでいるのか。

『子どものため・・・？』よく感じてみてください。それってもしかして、『私のため??』いかがですか？

子どもも一人の人間。親とは違った個性を持っています。そして、子どもなりに一所懸命考えて、感じて、行動しています。日々忙しい私たち親は、自分の考え方やペースに子どもを合わせさせようとしているんじゃないでしょうか。親(大人)の側の心に余裕がないから、子どもの気持ちやペースを大事にしてあげられなくなってしまう。そんな気がしています。

「そんなこと言ったら、忙しいし、待つ(合わせる)にも限度がある。」そうですね。そしたら、こんなのはどうでしょう？

「お母さんはこう思うからこうしてほしいの。」「お母さんはこう思うんだけど、どう？」

“あなたのために”、“あなたのためを思って”という言い方は、子どもの側からすると、押し付けがましく聞こえたりしませんか？子どもと同じように、親も一人の人間。親である前に一人の人間として子どもと向き合ったとき、素直な意思の疎通ができると思いませんか？お母さんの問いかけの表現がこんなふうに変わるだけで、子どもも

「ホントはね、私(僕)はこう思っているの」

「お母さんがそんなふうにいるのなら、私(僕)もそうしてみる」

という、ゆとりある、気持ちの通った返事ができるようになります。

親と子どもの考え方や価値観が違ったらいいんです。

お互いにその違いを認め合うこと、これが大切です。

「お母さんは、私(僕)がすることをちゃんと認めてくれる」

と子どもが感じられれば、お母さんが心配するような大きな

間違い(人としての道を踏み外すような)は決して起こさないとはいえます。

子どもは本当に純粋です。自分が小さかった頃を思い返しなから、子どもの世界を子どもの目線で、聞いて、

受け止められるようになりたいものですね。

ときには子どもの世界に入って、一緒に遊ぶことも、子どもの考え方や

価値観を知るヒントになるんじゃないかな。

カウンセラー 小林 晶子